

全農茨城県本部 新たに県内産牛枝肉研究会を開催！

最優秀賞 3,204 円/キロで競売

JA 全農いばらきは、(株)茨城県中央食肉公社（以下、公社）にて初めて開催した「全農茨城県本部家畜市場枝肉研究会」の褒賞授与式を 14 日に同家畜市場（常陸大宮市）で開催しました。

同研究会は同家畜市場における県内産肉用牛の資質改善等を目的に、年間 3 回の定期開催を目標に今年度から新たにスタートし、肥育農家だけでなく同家畜市場に出荷された「もと牛」を育てた繁殖農家も褒賞対象となる県内でも珍しい枝肉研究会です。

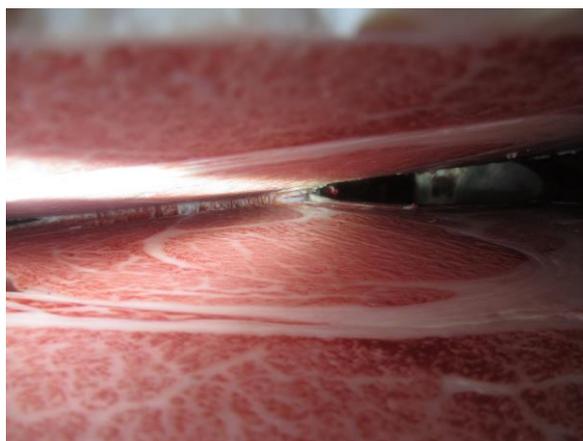
同研究会には黒毛和種 20 頭が出品され、最高位となる最優秀賞は肥育農家の中村公德さん（JA 水戸）と、繁殖農家の江幡康則さん（同）が選ばれました。

最優秀牛は枝肉重量 529 キロ、枝肉単価 3,204 円/キロ（税抜）の成績を収めました。

同研究会出品牛の枝肉平均単価は、当日の公社全体の枝肉相場との比較で黒毛和種 A4 等級平均単価 13 円高、A5 等級平均単価 212 円高と全階級で高値となりました。



写真右から：鈴木副本部長（同県本部）、最優秀賞に輝いた中村公德さんの長男の一樹さん、江幡康則さん、大和田畜産部長（同県本部）



ローズ断面（BMS No. : 12 ロース芯 : 89 cm²）

最優秀賞に選ばれた中村さんは「初代チャンピオンになれたことは本当に嬉しい。高値で購入してくれた卸問屋さんや、販売対応をしてくれた JA グループには感謝したい。連覇を目指して今度も良質な肉牛を育てていきたい。」と次回への意気込みを語りました。

最優秀賞となったもと牛を出荷した江幡さんは「このような取り組み（研究会）は繁殖農家にとっても励みになる。今後も良質なもと牛づくりに励んでいきたい。」と決意を語りました。